

家棟川におけるビワマス保全活動と まちづくりへの展開

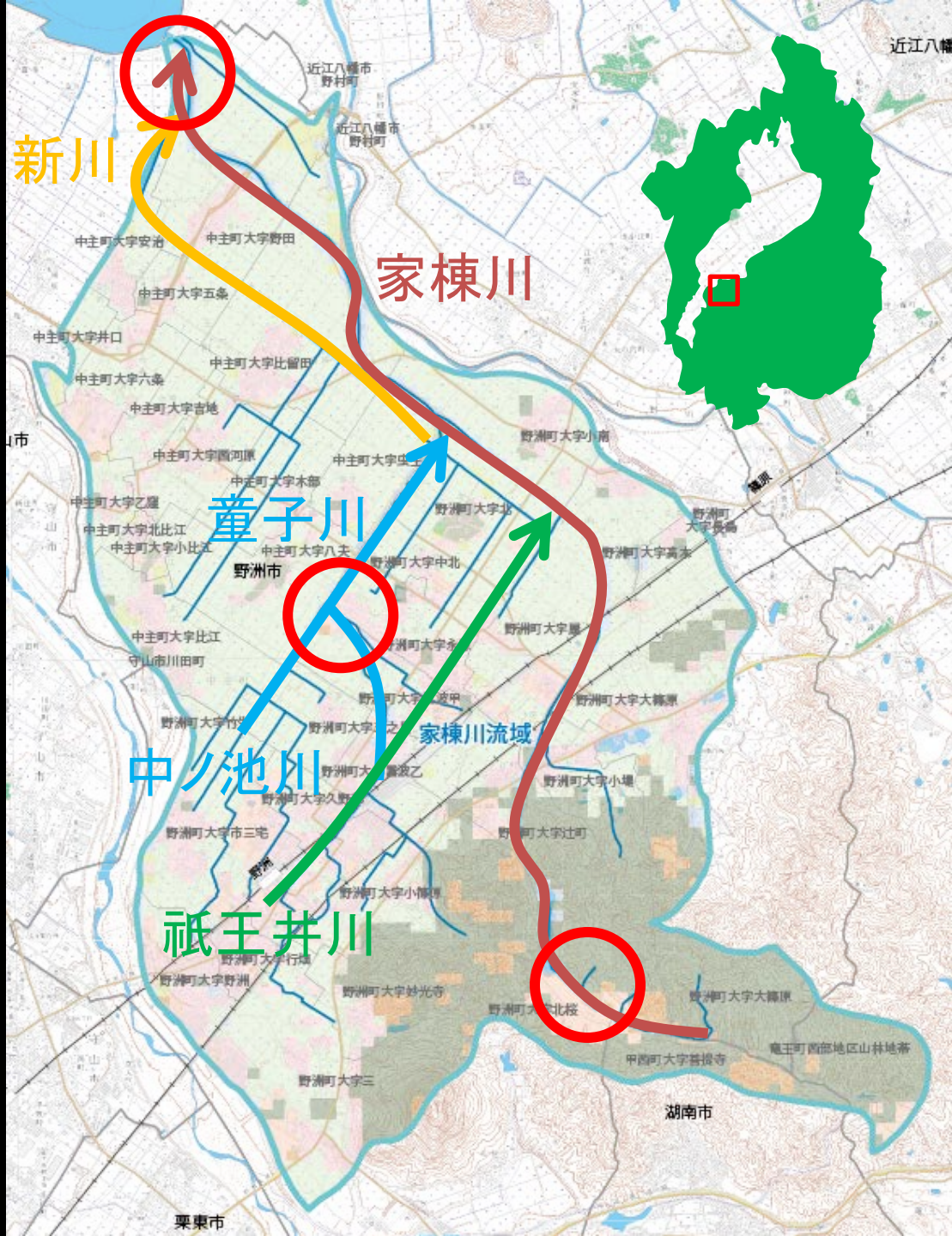
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
(家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト)
専門研究員 佐藤 祐一

環境保全

と

まちづくり

？



下流部

支流(童子川・中ノ池川)

上流部

ビワマス

琵琶湖固有種。秋に川で産卵し、孵化した稚魚は春に琵琶湖へ下り、3～4年後に再び産まれた川に戻ってきて産卵する。

♂



♀



- 調査活動の実施
- 違法採捕監視
- 地域住民への周知

市民

野洲乙自治会農地水環境保全委員
 中ノ池・童子川生態調査委員
 地元自治会等関係者
 祇王まちづくり推進協議会
 童子川・家棟川河川愛護会
 野洲市里川づくり委員会
 NPO家棟川流域観光船

企業等

TOTO株式会社
 立命館大学（学生）
 滋賀県立大学（学生）

- 活動への参画
- 助成金提供

- 河川占用許可
- 事業の予算化
- 広報、事務

行政

野洲市環境課
 滋賀県琵琶湖保全再生課
 滋賀県南部土木事務所

専門家

滋賀県水産課
 滋賀県水産試験場
 琵琶湖環境科学研究センター

（外部協力者）
 徳島大学 浜野教授
 兵庫県ひとはく 三橋主任研究員
 滋賀県立大学 瀧准教授

- 調査データの解析
- 専門的助言・協力
- 全体コーディネート

家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト
 構成メンバー(2015年8月結成)



活動① ビワマス産卵床の造成

川底の土砂を掻き出し、産卵に適した砂利を投入
(2015年10月・2016年10月・2017年10月・2018年9-10月)

An underwater photograph showing a rocky seabed in the foreground and a blue, slightly hazy water column above. The rocks are dark and varied in size. The water surface is visible at the top, with ripples and reflections. A white timestamp is overlaid in the bottom left corner.

11/21 12:30:04



活動② 落差工への魚道の設置

ビワマスの遡上の妨げになる落差工(落差3.2m)に魚道を設置
(2016年10月・2017年10月・2018年10月)

2016年版「単管パイプ魚道」



6:04:34

2018年版「柵付き鋼製魚道」

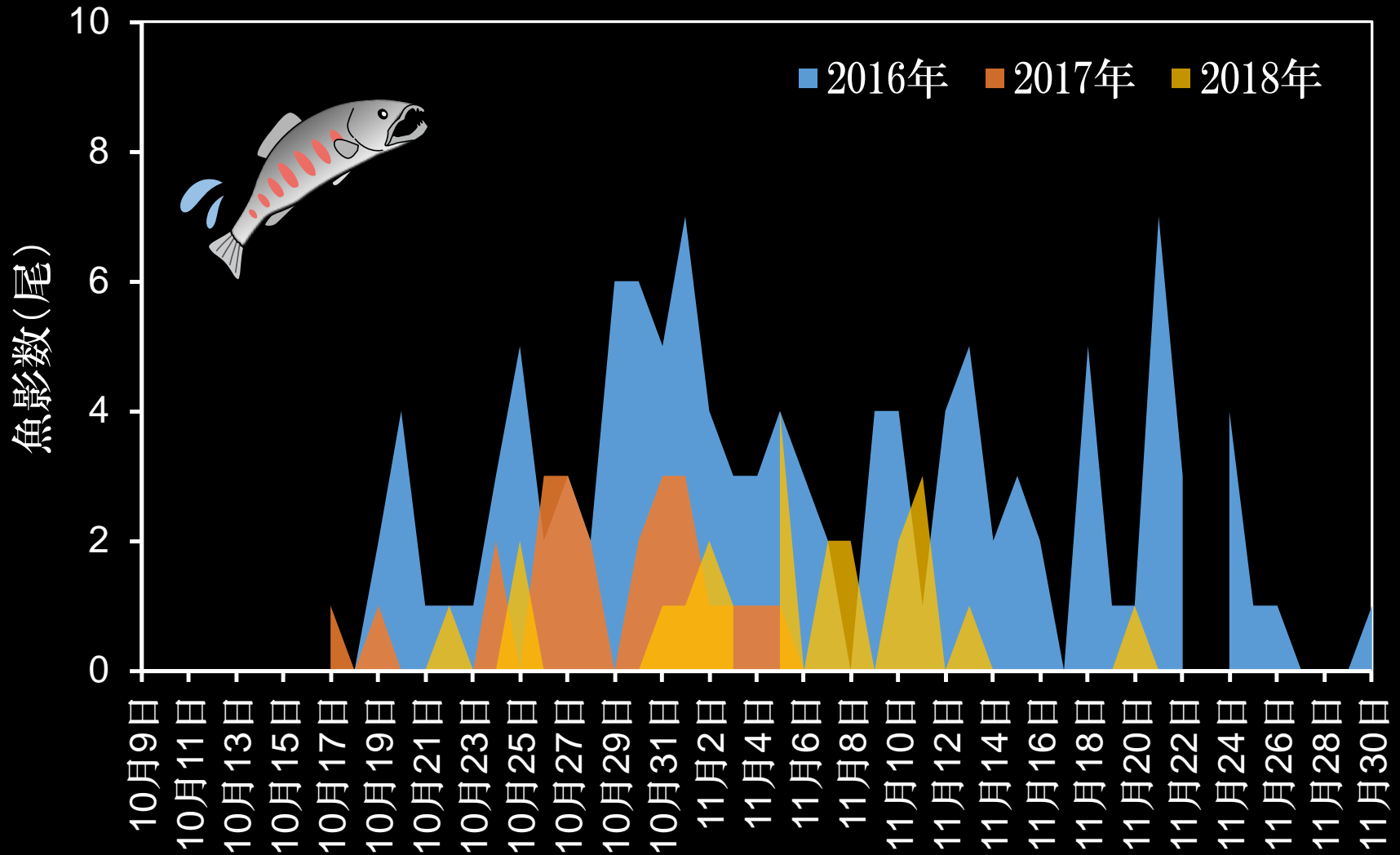




活動③ ビワマス遡上調査と監視

ビワマスの遡上の状況を毎日確認、また違法な捕獲を監視
(2016年10-11月・2017年10-11月・2018年10-11月)

ビワマス魚影数の比較(2016～2018年)



帰ってきたピワマスと
これからのまちづくり

ピワマス 採捕禁止

ピワマスフォーラム

2018-19 in 野洲

【と き】 平成31年 **2月2日** (土) 13:30~16:00

【と ころ】 野洲図書館本館 ホール

みんなで力をあわせてピワマスを滋賀県・駿河川などに呼び戻そうとする私たちの取り組みについてたくさんの方々から知ってもらい、またさらに広げていくため、フォーラムを開催します！

【講演・報告】
ついにピワマスが魚道を遡上！ ほか 地域からの報告

【ワークショップ】
わたしたちと環境の関わりを考える～環境的自叙伝～

【体験イベント】
ピワマス（あめのいお）ご飯の試食会

【全体意見交換】
ピワマスを活かしたこれからのまちづくり

**入場無料
定員 100名
(要申込)**

あめのいおご飯
試食あり！

主催：家禎川・童子川・中ノ池川にピワマスを戻すプロジェクト / 野洲市 / 滋賀県



ピワマスフォーラムの開催

取り組みの概要と成果を発表し、評価結果を次年度に反映
(2015年11月・2016年12月・2017年12月・2019年2月)

人がつながる

人が育つ

そして、原風景をつくる